



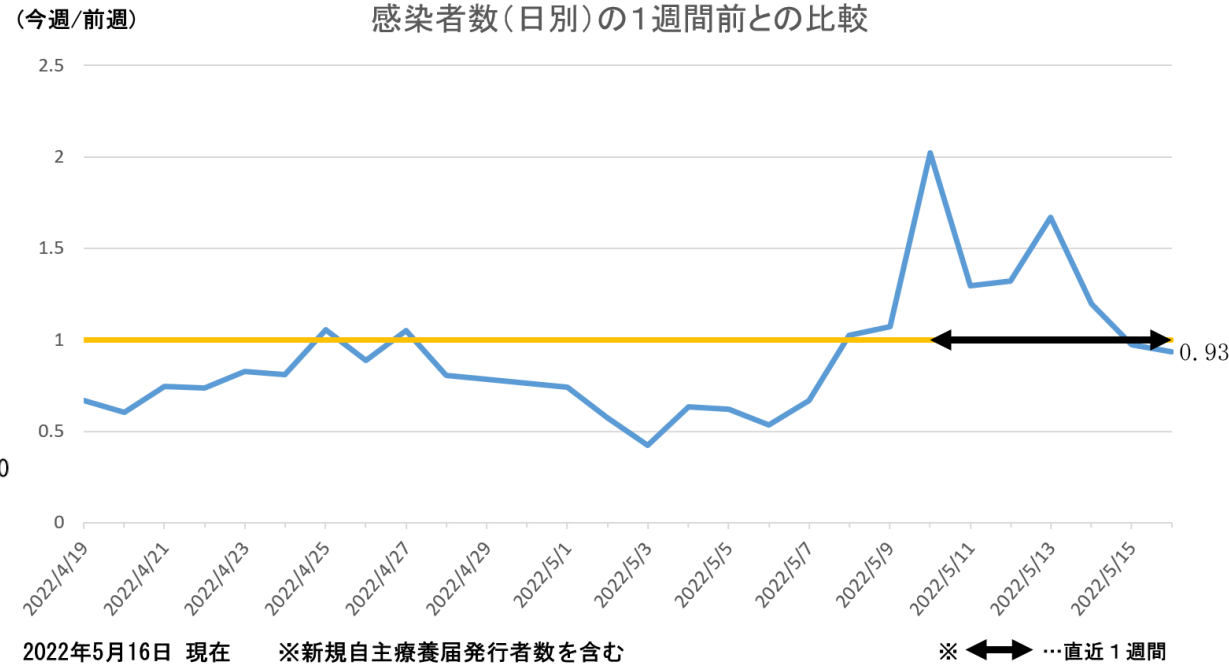
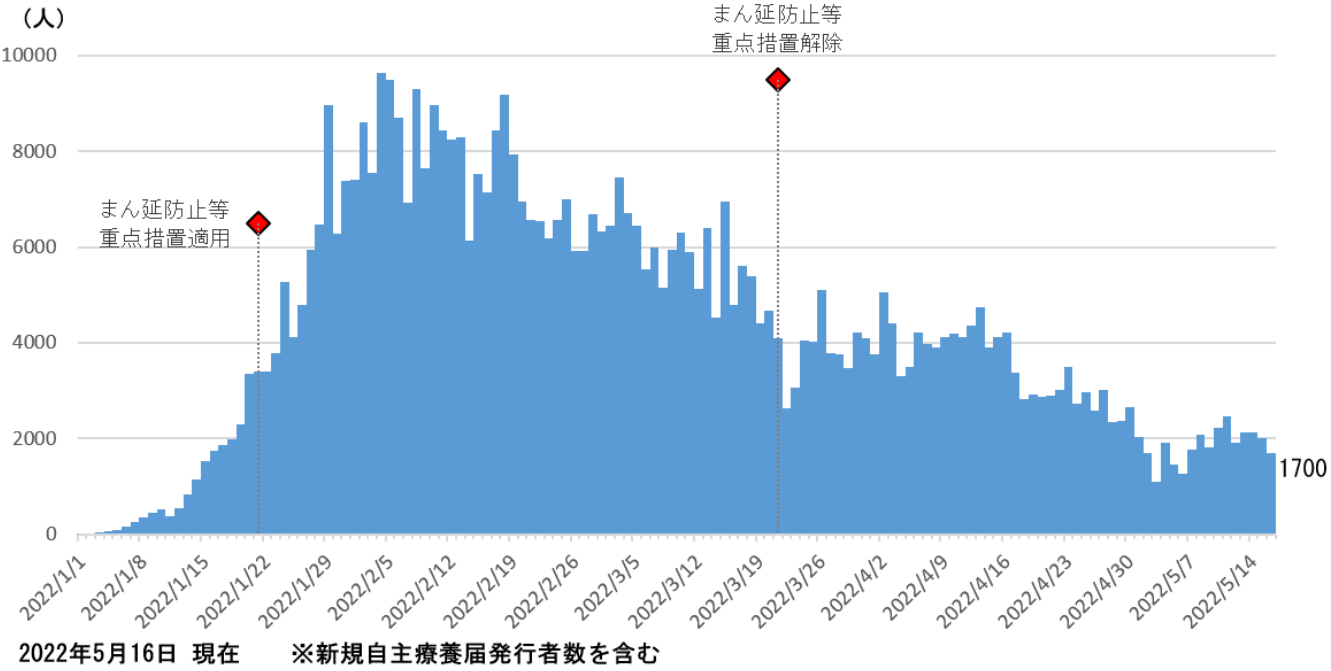
最近の患者発生動向

神奈川県 医療危機対策本部室

令和4年5月18日

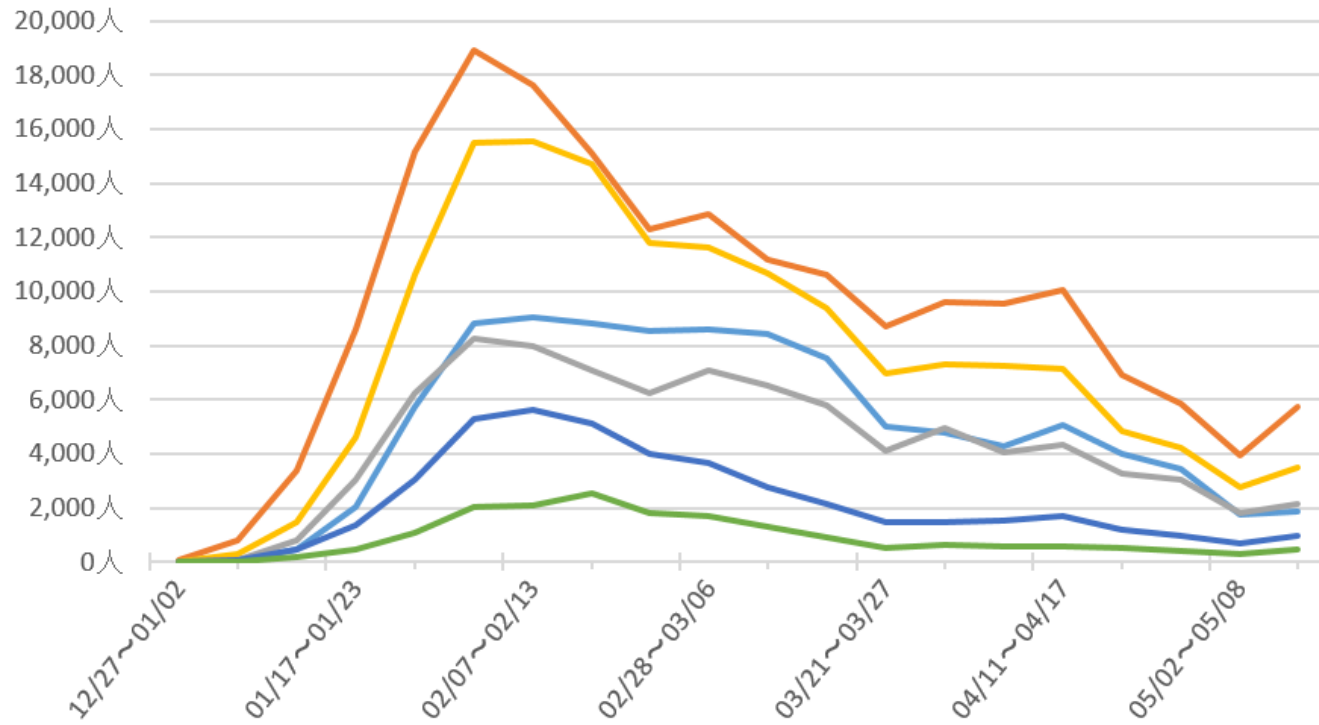
神奈川県病院協会 新型コロナウイルス対策会議

新規感染者の推移

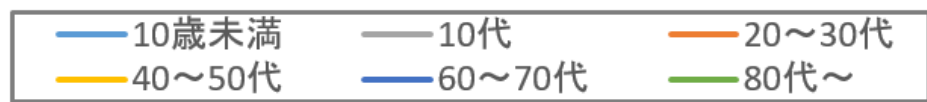
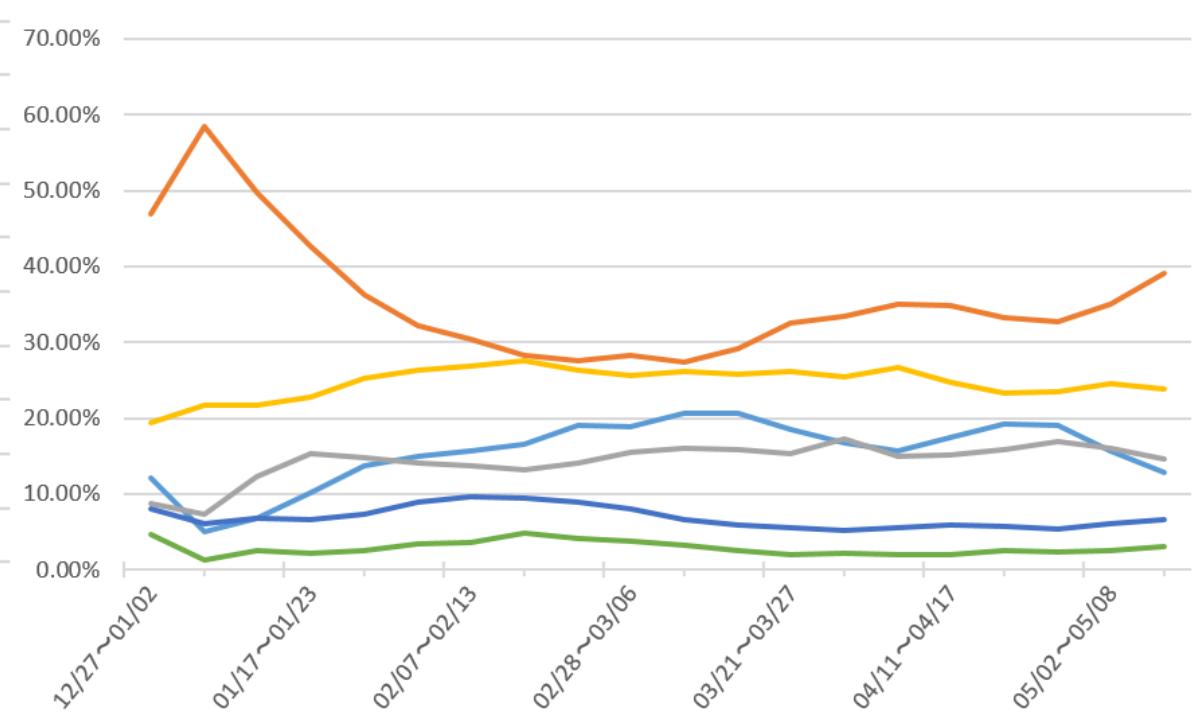


年代別感染者の推移（週別）

■ 実数ベース



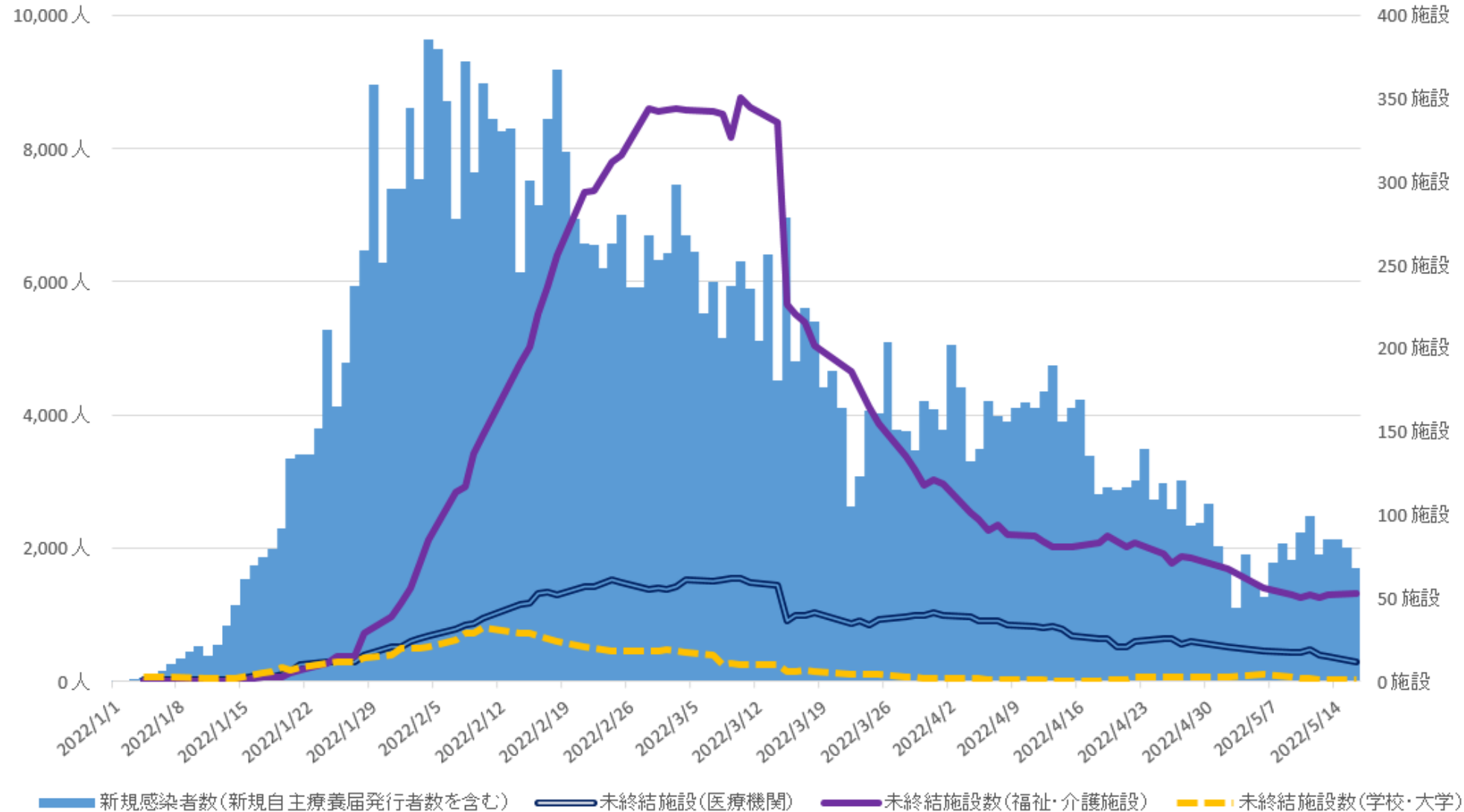
■ 割合ベース



2022年5月15日 現在 ※新規自主療養届発行者数を含む

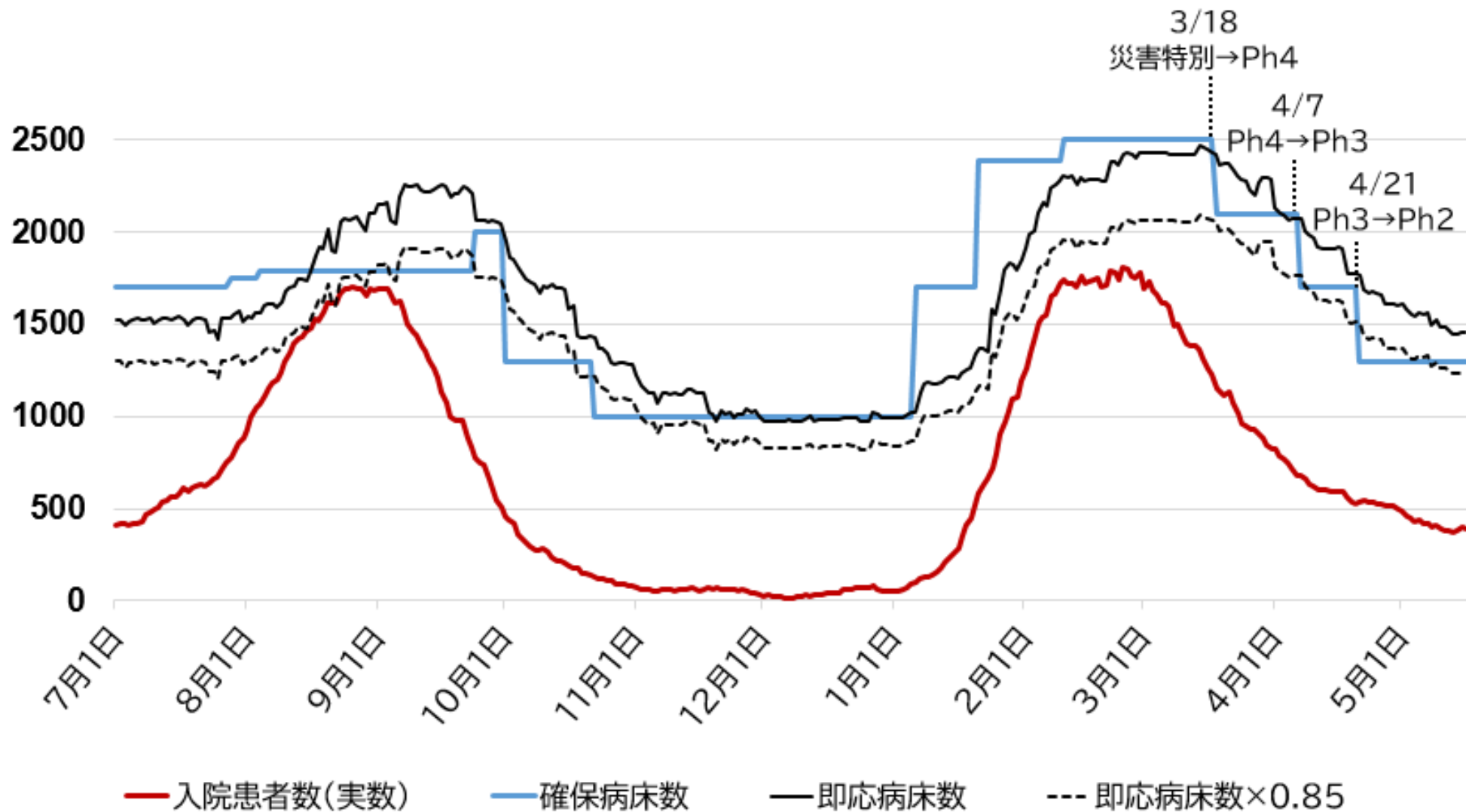
新規陽性患者数とクラスター未終結施設数

新規感染者数(自主療養届発行者数を含む)とクラスター未終結施設数



2022年5月16日 現在

病床と入院者数の推移



(確保病床はその時点における病床確保フェーズの確保病床)



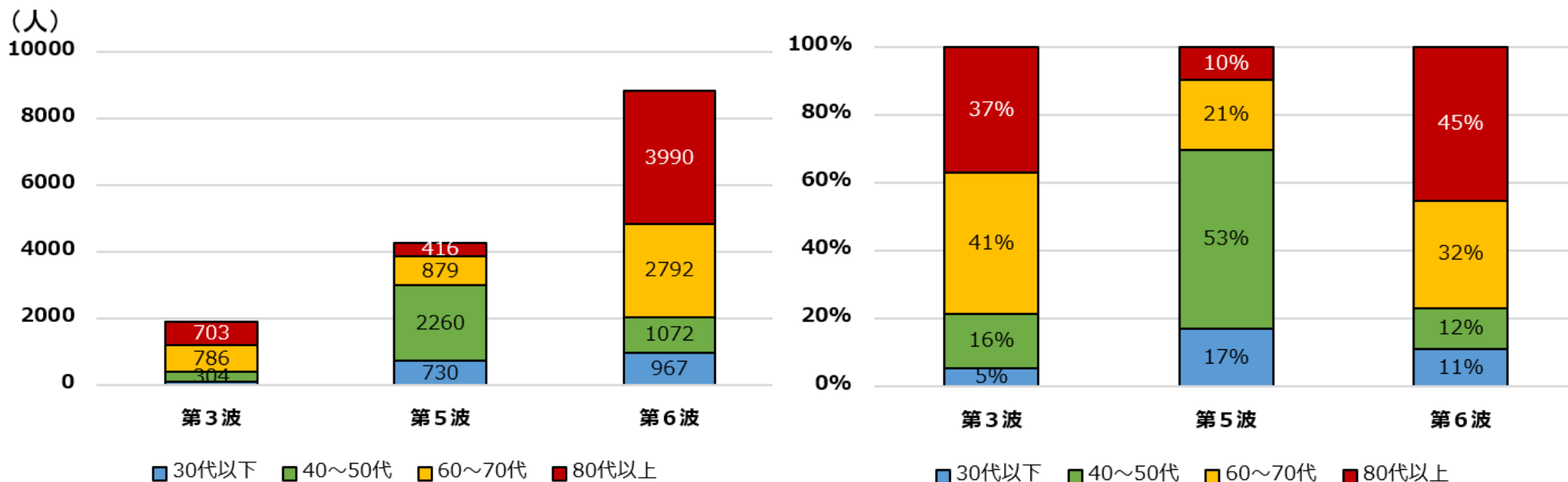
高齢者施設における 今後の医療支援の強化

神奈川県健康医療局医療危機対策本部室

2022.5.18

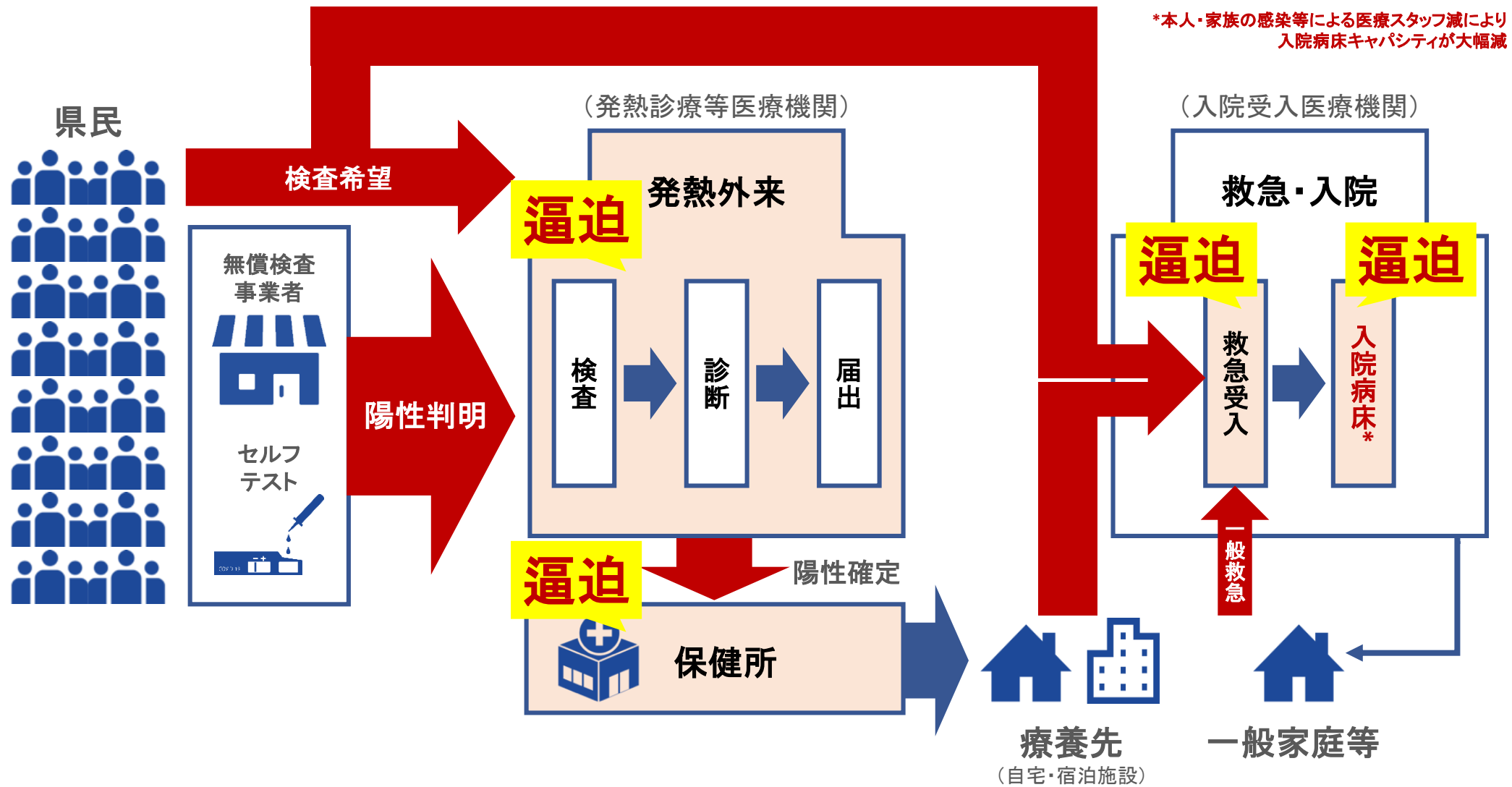
県病院協会主催コロナ対策会議

新規入院者の年代別割合の推移 神奈川県



➡ オミクロン株主体の第6波では、60代以上の高齢者の重症化が特に深刻

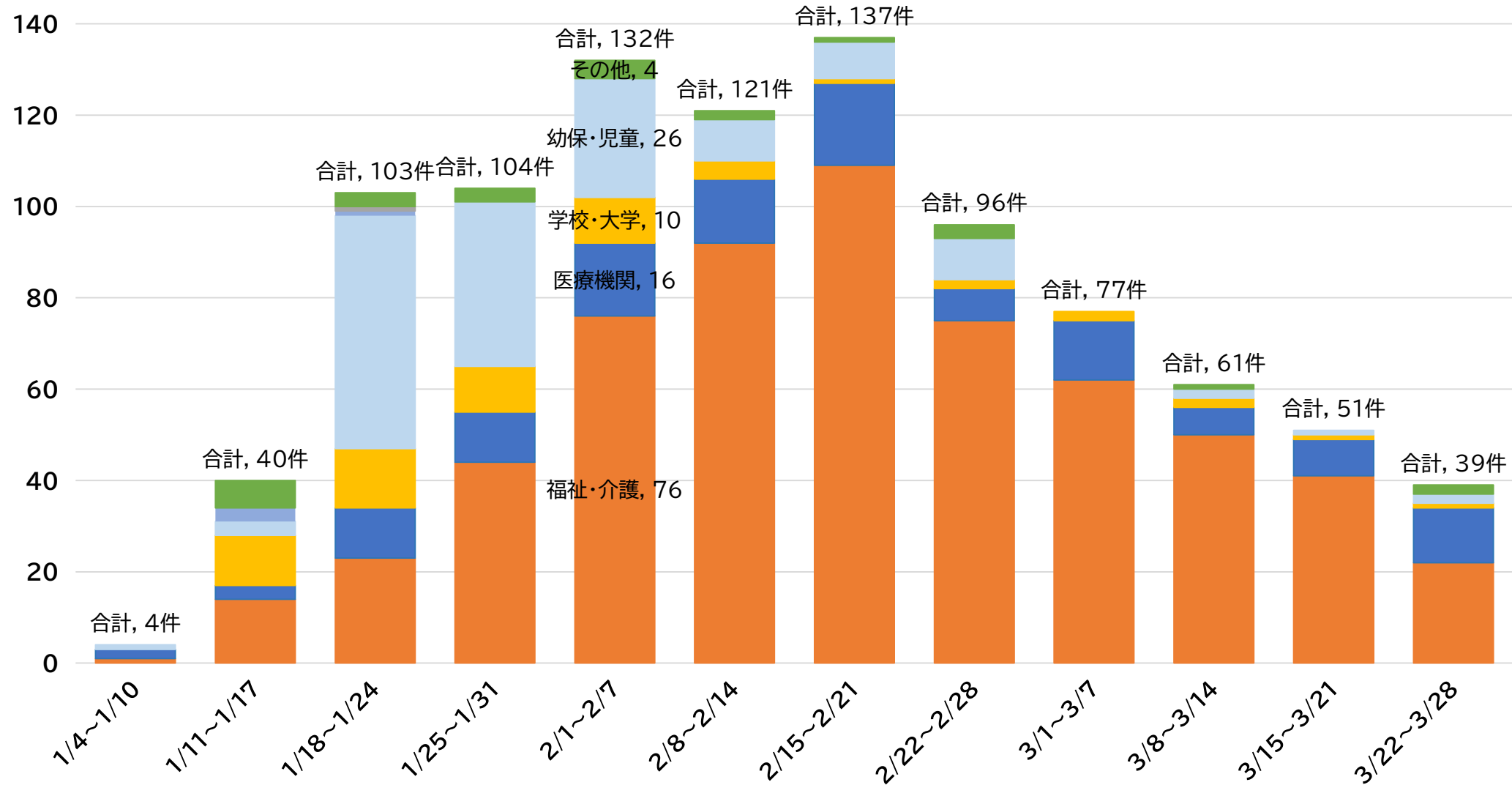
第6波の保健・医療体制逼迫の構図



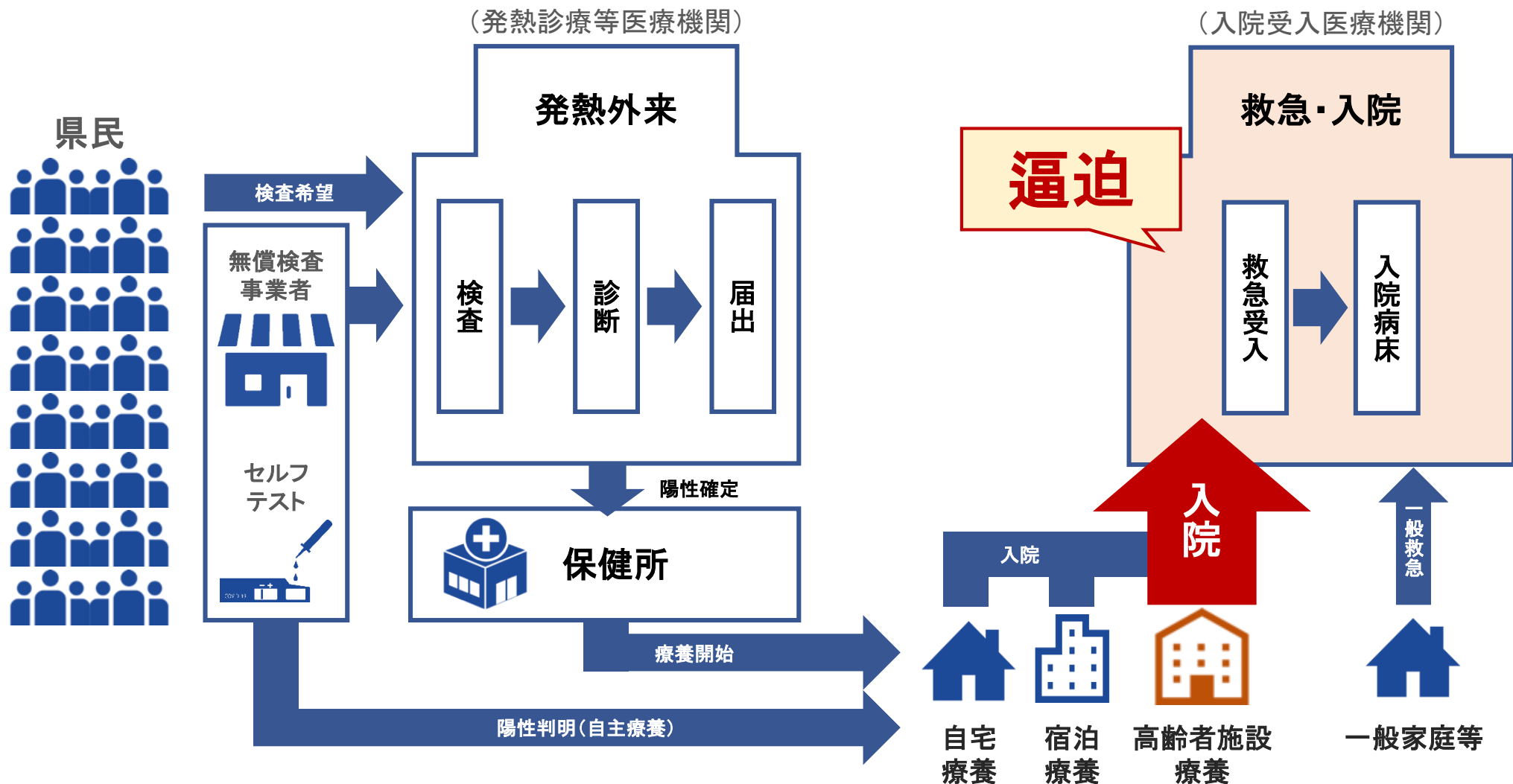
高齢者施設のクラスターの負荷が大きい

【施設別】新規クラスター発生動向

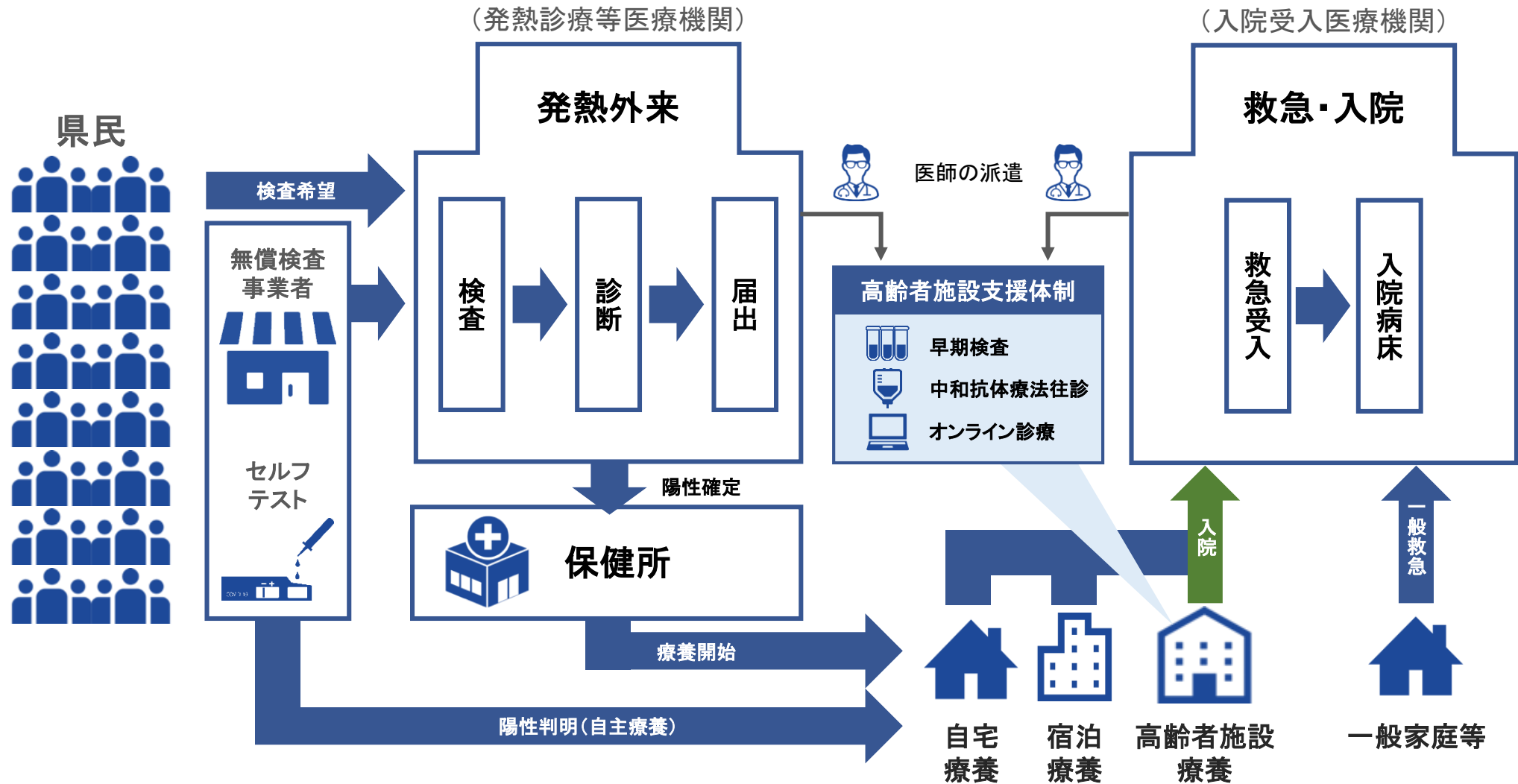
(施設数)



第7波で予想される医療体制逼迫の構図



医療逼迫を防ぐための高齢者施設対策のイメージ



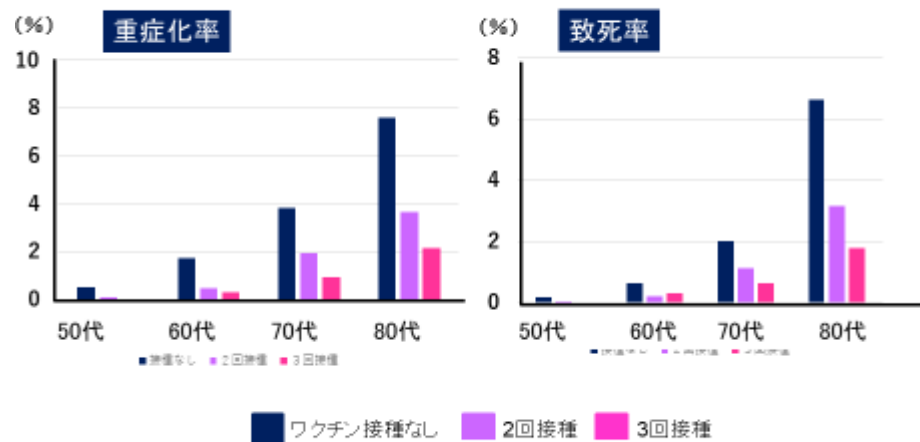
重要

高齢者施設対策として、施設種別の計画立案が必要

ワクチン4回目接種体制



第6波における重症化率・致死率（2022年3月～4月）



アドバイザリーボード資料(2022年 4月13日)

施設での医療提供体制



1. クラスター対策班による常時相談窓口設置
2. 発生前検査体制として抗原検査キット配布？購入補助？
3. 発生後検査体制として具体的な体制
4. 往診体制の確立
 - 地域療養の神奈川モデル：地域療養の一環としての参入可否
 - オンライン等診療体制：地域療養を含めた体制、医師会、非医師会
 - 中和抗体薬治療提供：地域の基幹となる施設プラン

迅速な検査実施・治療体制の構築を目指す

従来への対応



今後の対応



➡ 重症化予防のため、保健所の調査を待たずに検査・治療へつなげる体制を、まずは県所管域から実施したい

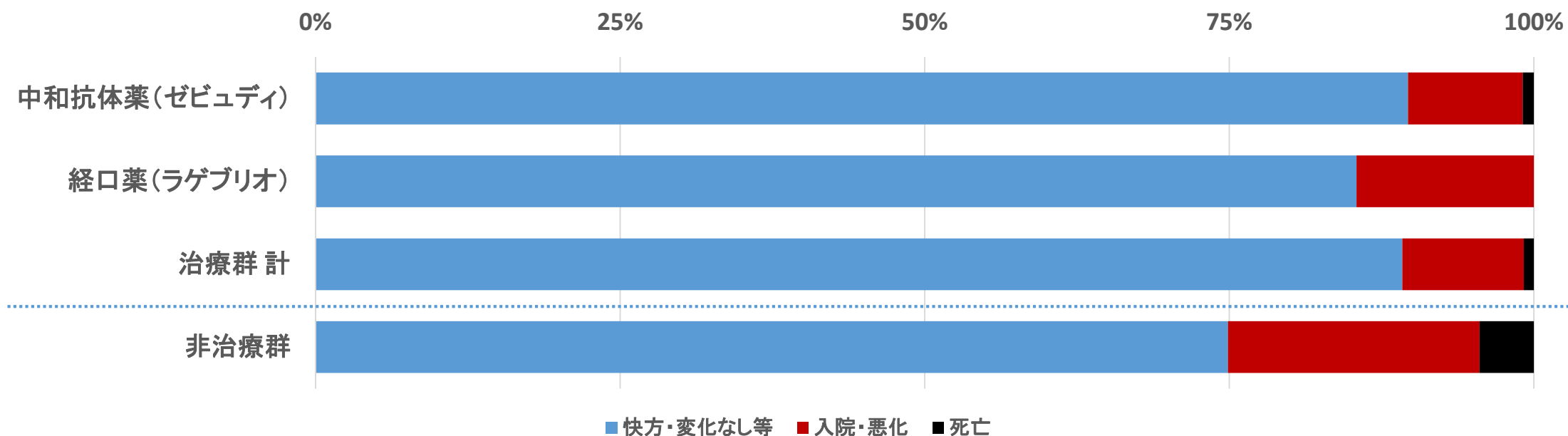
検体採取チームの運用状況概要

2022/5/16 10:00現在

項目	4/26 ~5/1	5/2 ~5/8	5/9 月	5/10 火	5/11 水	5/12 木	5/13 金	5/14 土	5/15 日	1週間の 合計	全体の 合計
新規陽性探知数（新規施設数）	12	12	4	1	0	4	2	0	0	11	35
検査実施決定施設数	5	4	2	0		2	0			4	13
県での検査実施数	5	2	2			1	0			3	10
中和抗体療法実施数	4		1							1	5
経口治療薬実施数	2										2
医療機関での検査実施数	1	2				1				1	4
中和抗体療法実施数											0
経口治療薬実施数											0
検査不要と判断	7	8	2	1	0	2	2	0	0	7	22

高齢者福祉施設における治療群・非治療群の比較

(2022年1月～3月)



○ 比較に使用した施設データの内訳(参考)

	特別養護老人ホーム	介護老人保健施設	有料老人ホーム等	計
治療群	9(30.0%)	6(20.0%)	15(50.0%)	30(100%)
非治療群	7(31.8%)	7(31.8%)	8(36.4%)	22(100%)

全てのコロナ陽性高齢者に 抗ウイルス薬・中和抗体薬を！

新型コロナウイルス感染症に感染した患者に抗ウイルス薬・中和抗体薬を投与した場合、重症化を抑制する効果が見られることが分かっています。対象となる方へ、診断時に治療を検討できるようお願いします。
中和抗体薬ゼビュディについては、オミクロン株(BA.2)に対し中和活性の低下が指摘されていますが、現時点で臨床効果の低下が明確に示されてはおりませんので、治療法の選択として位置付けています。

65歳以上 の全ての陽性患者に
治療をご検討ください

パターン1
(診療所向け)

経口抗ウイルス薬
ラゲプリオ
(モルヌピラビル)

1日2回5日間投与します

- カプセルが大きい
- 1回4カプセル内服

可能であればこちらをご検討ください

経口薬の内服が難しい場合は点滴薬をご検討ください

中和抗体薬
ゼビュディ
(ソトロビマブ)

毎日1回、投与後24時間の継続観察が必要です

- 重篤な副作用は少ない(0.062%)

パターン2
(病院向け)

経口抗ウイルス薬
パキロピッドパック
(ニルマトレルビル/リトナビル)

1日2回5日間投与します

- 併用禁忌・注意の薬物が多い
- 中等度以上の腎機能障害患者は薬剤量の調整が必要(高齢者に投与しづらい)

投与が難しい場合はこちらをご検討ください

経口薬の内服が難しい場合は点滴薬をご検討ください

経口抗ウイルス薬
ラゲプリオ
(モルヌピラビル)

経口薬の内服が難しい場合は点滴薬をご検討ください

点滴抗ウイルス薬
レムデシビル
(ベクルリー)

1日4回3日間投与します

- 3日間の連続投与が必要
- 医師のご判断で、こちらをご検討ください

中和抗体薬
ゼビュディ
(ソトロビマブ)

全てのコロナ陽性患者に 抗ウイルス薬・中和抗体薬を！

新型コロナウイルス感染症に感染した患者に抗ウイルス薬・中和抗体薬を投与した場合、重症化を抑制する効果が見られることが分かっています。対象となる方へ、診断時に治療を検討できるようお願いします。
中和抗体薬ゼビュディについては、オミクロン株(BA.2)に対し中和活性の低下が指摘されていますが、現時点で臨床効果の低下が明確に示されてはおりませんので、治療法の選択として位置付けています。

透析中 の全ての陽性患者に
治療をご検討ください

パターン1
(診療所向け)

経口抗ウイルス薬
ラゲプリオ
(モルヌピラビル)

1日2回5日間投与します

- カプセルが大きい
- 1回4カプセル内服

経口薬の内服が難しい場合は点滴薬をご検討ください

中和抗体薬
ゼビュディ
(ソトロビマブ)

毎日1回、投与後24時間の継続観察が必要です

- 重篤な副作用は少ない(0.062%)

パターン2
(病院向け)

経口抗ウイルス薬
ラゲプリオ
(モルヌピラビル)

1日2回5日間投与します

- カプセルが大きい
- 1回4カプセル内服

経口薬の内服が難しい場合は点滴薬をご検討ください

点滴抗ウイルス薬
レムデシビル
(ベクルリー)

1日1回3日間投与します

- 3日間の連続投与が必要
- 医師のご判断で、こちらをご検討ください

中和抗体薬
ゼビュディ
(ソトロビマブ)

施設内のコロナ陽性高齢者に 抗ウイルス薬・中和抗体薬を！

新型コロナウイルス感染症に感染した患者に抗ウイルス薬・中和抗体薬を投与した場合、重症化を抑制する効果が見られることが分かっています。対象となる方へ、診断時に治療を検討できるようお願いします。

施設で投薬 または **点滴を**
陽性が判明した
すべての入所者に

飲み薬を服用できる入所者への治療

施設で投与

経口抗ウイルス薬
ラゲプリオ
(モルヌピラビル)

1日2回5日間投与します

<特徴>

- ウイルスの増殖を抑制する飲み薬
- カプセルが大きいことに注意(長さ約2cm)
- 1回4カプセル内服
- 投与前に本人の同意が必要(代理可)

61歳以上の方であれば投与可能

飲み薬を服用できない入所者への点滴治療

施設で点滴投与

中和抗体薬
ゼビュディ
(ソトロビマブ)

毎日1回、投与後24時間の継続観察が必要です

<特徴>

- 体内に抗体を注入することで、細胞へのウイルスの侵入を防止する点滴薬
- 重篤な副作用は少ない(0.062%)

※この薬は注射剤であり、点滴薬として投与する必要があります。医師のご判断で、こちらをご検討ください。

55歳以上の方であれば投与可能

いずれの治療も陽性判明から**1~2日**後に実施します

中和抗体療法＋経口薬 ダッシュボード

(単位:人)

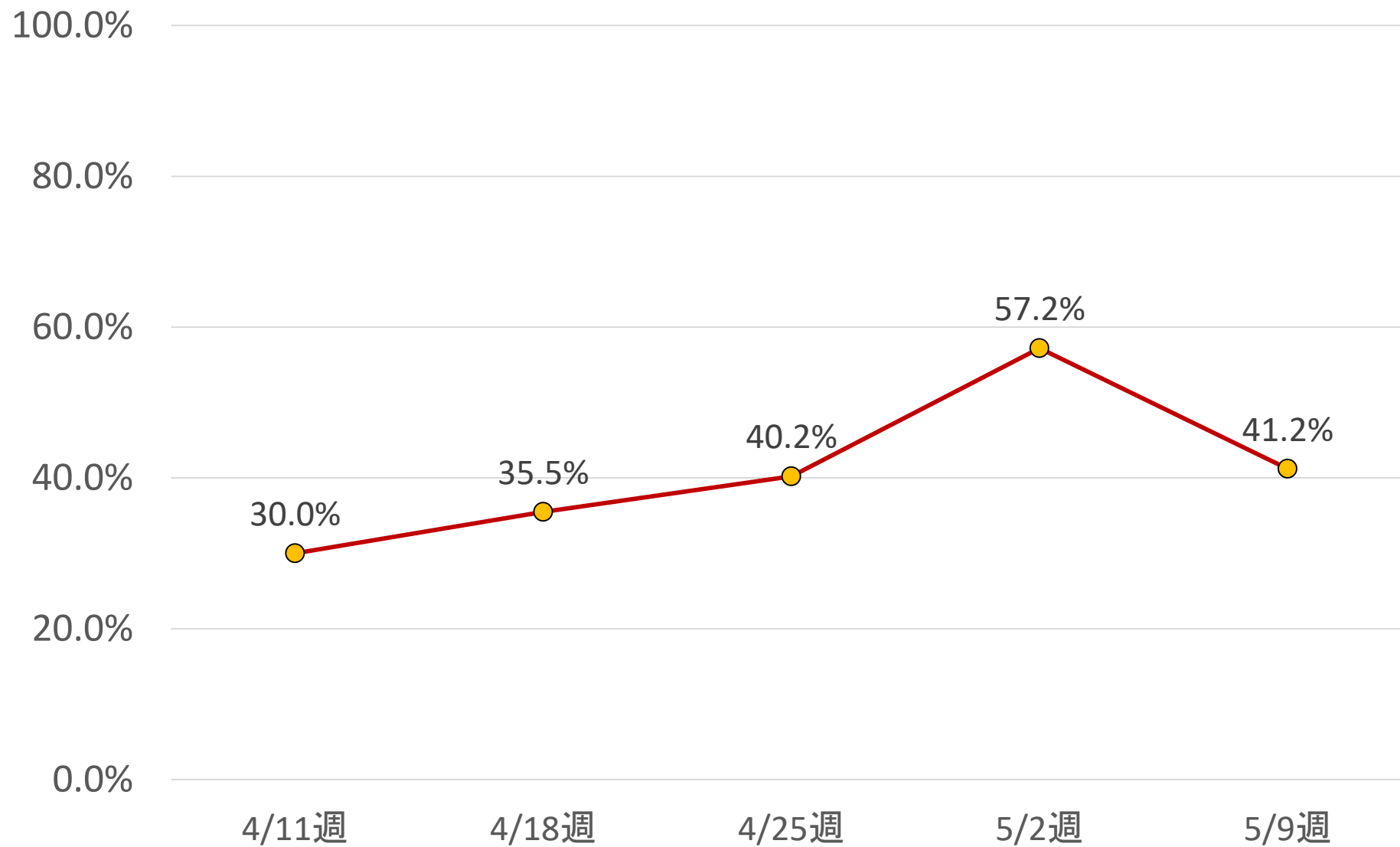
項目	基準日					平均
	4/11週	4/18週	4/25週	5/2週	5/9週	
陽性者数 (1日平均)(a)	28,840 (4,120)	20,761 (2,966)	17,984 (2,569)	11,284 (1,612)	14,698 (2,100)	13,367 (1,910)
推定対象者数(b) ※1	2,257	1,739	1,402	982	1,427	1,561
経口薬 推定 投与者数(c)※2	490	490	490	490	490	490
中和抗体 推定 投与者数(d) ※3	186	127	73	72	98	112
中和抗体療法 ＋経口薬 実施率[(c+d)/b]	30.0%	35.5%	40.2%	57.2%	41.2%	38.6%

※1 推定対象者数:60歳以上の陽性者数

※2 経口薬:4/1～4/30までの平均週次投与者数を使用(累計値:4/15 14,362回、4/30 15,412回)

※3 中和抗体:kintoneでの報告数をもとに推定

中和抗体療法 + 経口薬 実施率



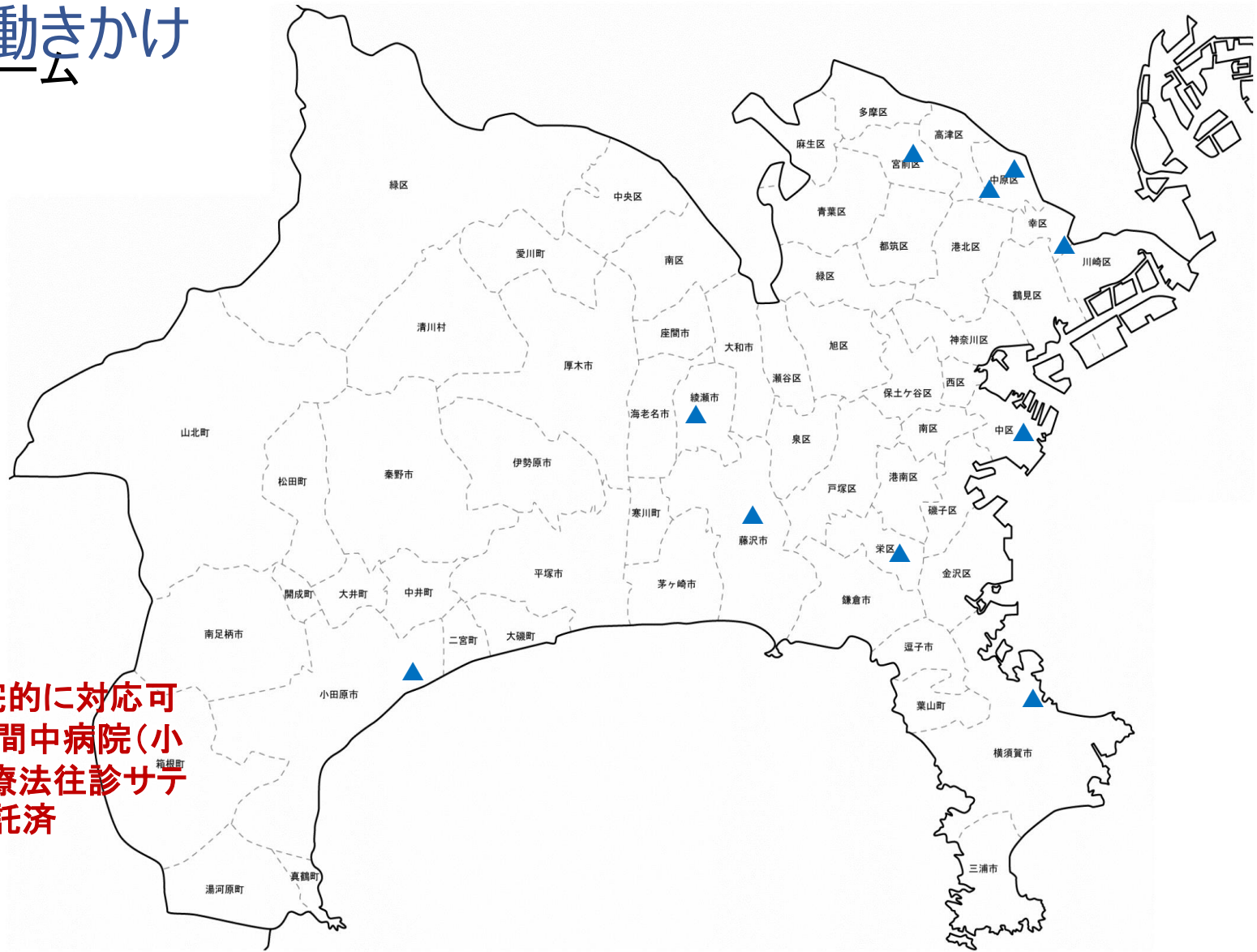
医療機関への働きかけ

高齢者施設往診チーム

県西部・県中部など
網羅できていない

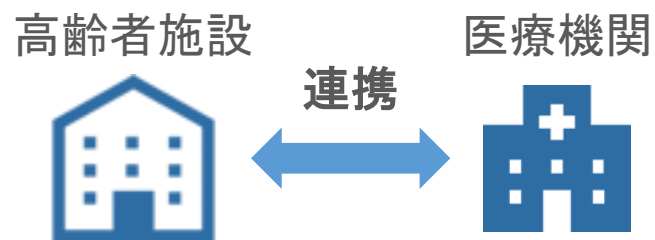
往診医療機関のほかに
連携医療機関も必要

※ このほか、県として補完的に対応可能な体制を確保するため、間中病院(小田原市)に対し、中和抗体療法往診サテライトチーム運営事業を委託済



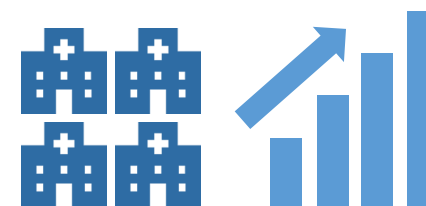
施設内治療医療機関（仮）の募集

高齢者施設と医療機関のマッチング



- 施設で陽性者発生時は、連携する医療機関が治療を担当
- 連携する医療機関がない場合は、**治療を担当する「施設内治療医療機関(仮)」を神奈川県が事前にマッチング**

「施設内治療医療機関(仮)」の拡大



- 連携する医療機関がない施設への治療を担当する**「施設内治療医療機関(仮)」を募集**
- 各団体の協力を得ながら積極的な協力を呼びかけ

**医療機関と高齢者施設を事前に紐づけて、
感染者の発生に備えていく**